

J Sights Corporation

2024 年度 北米産大豆の生育状況

2024 年 9 月 25 日

J サイツ株式会社 担当:本田

2024 年 9 月現在のアメリカとカナダの大豆の生育状況と収穫状況について、下記に報告致します。

2024 年 9 月現在、北米産の大豆収穫は地域によって進捗が異なりますが、全体的には順調です。

アメリカでは、中西部のインディアナ州、アイオワ州、ノースダコタ州などで好条件が続き、予想収量は 1 エーカーあたり 53.2 ブッシェルと記録的な数値が見込まれています。

収穫は南部（ルイジアナ州やアーカンソー州）で進行しており、ルイジアナ州ではすでに 25%、アーカンソー州では 14%が収穫されています。また、天候が良好だったため、特に大豆の生育が重要な時期である 8 月のポッド形成期に良い影響がありました。イリノイ州やオハイオ州ではやや収量が低下する見込みです(*参照 [USDA ERS](#))。

カナダでは、雨や低温による植え付けの遅れがありました。特にマニトバ州では気温上昇によって作物の成熟が進みつつあります(*参照 [United States Soybean Export Council](#))。

オンタリオ州では、2024 年の春先の天候は概ね良好で、植え付けは順調に進みました。夏季の気候も大きな問題なく、必要な降雨があり、全体的な生育状態は「良好から非常に良好」と評価されています。作物の大部分が適時に成熟に向かっており、9 月末から 10 月にかけての本格的な収穫が期待されています。

収量は、過去数年と同様に安定しており、例年並みか、やや上振れする可能性があります。USDA やその他の農業レポートによると、天候が順調であれば、良質な作物を収穫できると予想されています。

[写真]

カナダ ヒューロン地域の畑

鞘付きがよく生育の良好さが分かる



5/22 作付

9/13 撮影

そろそろ収穫が近づく



6/13 作付

9/13 撮影

J Sights Corporation

NON-GMO 大豆に関しては、例年と比較して安定しており、特にインディアナ州南東部は日本や台湾向けの食品用大豆の生産が盛んで、湿った土壌による植え付けの遅れが懸念されましたが、現在は順調に進んでおり、高品質な収穫が期待されています(*参照 [United States Soybean Export Council](#))(*[USDA Agricultural Marketing Service](#))。



[写真]

アメリカミシガン州 鞘付きの様子

この地域も春に大雨が降った影響で作付け時期にばらつきが出たものの、その後の天候には恵まれおおむね順調。乾燥しすぎると割れ豆の懸念があるため、適度な雨を期待しつつ、収穫のタイミングを計っている段階。

Photo by Star of the West

北米の大豆収穫に関する懸念事項は以下の通りです。

1. **地域ごとの気候リスク:** 特に中西部（イリノイ州、オハイオ州など）では、収量が予想よりも低くなる可能性があります。これは、夏の一部地域で降水不足や極端な気温が影響しているためです。例えば、イリノイ州では、乾燥や高温の影響を受けたため、USDA は若干の収量減を見込んでいます(*参照 [USDA ERS](#))。
2. **成熟の遅れ:** ノースダコタ州やその他の北部地域では、春先からの低温と雨が原因で植え付けが遅れ、作物が適時に成熟しない可能性があります。これは、特に早期霜のリスクが高まる秋の時期に懸念されています。今後、霜が早期に訪れると、未成熟の作物に影響を与える可能性があります(*参照 [United States Soybean Export Council](#))。
3. **輸送と需要:** アメリカの非遺伝子組み換え（NON-GMO）大豆は、主に日本や台湾などの輸出市場に依存しており、これらの市場の需要動向や輸送コストが懸念されています。特に国際的な物流の乱れや、貿易政策の変更がこれらの輸出に影響を与える可能性があります(*参照 [United States Soybean Export Council](#))。

今後の見通し

南部では干ばつリスクが引き続き監視されており、北部では早霜のリスクが重要視されています。然しながら全体として、北米産の大豆収穫は順調で、今後数週間の天候が豊作をさらに後押しするかどうか鍵となります。

[写真]

米国 インディアナ州

晴天・温暖な気候が続き例年より少し早めに収穫が始まる見込み

